

共に北海道の未来を創る
第9期北海道総合開発計画



令和7年10月1日
北海道開発局

道内初！リモートセンシング*を活用した地籍調査を実施しています

～新たな手法の普及に向け、道内自治体向け見学会を開催～

国土交通省は、地籍調査を加速させるため、積丹町においてリモートセンシングを活用した地籍調査を実施しております。この調査方法は、道内初の実施で、従来の手法と比べ、測量作業の迅速化、現地立会等の効率化、コストの縮減といった効果が期待されます。

この度、リモートセンシングを活用した調査手法を広く知っていただくことを目的に、下記のとおり見学会を開催しますので、お知らせします。

*ヘリコプター等に搭載したレーザ測距装置からレーザを照射し、短時間に広範囲を計測可能な測量手法

記

- 日時： 令和7年10月21日(火) 13:30～16:00(予定)
(受付開始:13:00)
- 場所： 北海道開発局研修センター 2階講堂 (札幌市東区北6条東12丁目)
- 対象者： 道内市町村職員等
- 議題： ①航空レーザー測量手法について
②調査結果の概略について
③土地所有者等への説明手法の実演 等

5. 取材について

取材を希望される方は、(別紙)取材申込書に必要事項を記入の上、10月17日(金)までに以下の申込用メールアドレスへお申し込み下さい。

申込用メールアドレス (北海道土地政策推進連携協議会) hkd-ky-fumeitochi@ki.mlit.go.jp

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 電話(代表) 011-709-2311

開発監理部 用地課 課長補佐 北川 雅也 (内線 5534)

開発監理部 用地課 上席専門官 大久保 友也 (内線 5603)

北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>



北海道土地政策推進連携協議会 行
(北海道開発局 開発監理部 用地課)

Mail: hkd-ky-fumeitochi@ki.mlit.go.jp

取材申込書

取材を希望する場合は、この様式により上記連絡先まで Mailにてお申し込みください。
申込締切りは、令和7年10月17日(金) 12時までです。

会社名及び部署名

取材者 役職・氏名（全員の役職・氏名を記載願います。）

①（代表者）

②

③

連絡先（代表者の連絡先）

テレビカメラの持ち込みの有無

（該当するものに○をつけてください） 有 ・ 無

※ 御記入いただいた個人情報については、本見学会に関する連絡以外には使用しません。

リモートセンシングとは？

固定翼航空機（軽飛行機）や回転翼航空機（ヘリコプター）等に搭載したレーザ測距装置からレーザを照射して、**短時間に広範囲を計測可能**な測量手法。リモートセンシングデータを用いることで、①測量作業の迅速化、②現地立会等の効率化、③コストの縮減といった効果が期待されます。

固定翼航空機（軽飛行機）



回転翼航空機（ヘリコプター）



UAV（無人航空機）



効果①：測量作業の迅速化等

現地で行っていた測量作業について、航空機レーザ測量等によるリモートセンシングデータを用いることで、従来よりも広範囲の測量を現地に行くことなく実施することが可能となり、作業の大幅な迅速化が可能となります。

加えて、現地測量作業に伴う危険も減少します。

効果②：現地立会等の効率化

現地で行っていた立会の代わりに、微細地形や植生状況等が把握可能なリモートセンシングデータを活用して作成した境界案を用いて集会所等で確認を行うことにより、立会に要する時間や労力の大幅な効率化が可能となります。

加えて、現地立会に伴う危険や困難も減少します。

効果③：コストの縮減

リモートセンシングデータの活用により、人件費や作業時間の短縮、現地作業の削減、データ処理の効率化などが可能となり、コスト縮減に繋がります。